

2021 年度産応協対話交流会講習会開催報告

産応協は、予めより対話交流先としてCAE懇話会との間で相互会員覚書を締結し、合同イベント開催を企画してきましたが、6月24日（木）に、第1回の共催の講習会を開催することができました。今回のメインテーマは、「富岳時代のHPC～大規模計算への期待と新しい未来」でした。

開催方法は、コロナ禍の影響を受け、Web-EXによるリモート開催でしたが、「富岳」の一般利用が開始された直後の大変タイムリーなテーマであったため、産応協側で行った参加者募集で65名（WGメンバー、事務局合わせ70名）の方が参加され、関西CAE懇話会側から参加した方を併せて大変盛況な講習会となりました。講習会では、講師との活発な質疑応答が繰り広げられ、「富岳」に対する産業界の期待の大きさがよく分かりました。

《アジェンダ》

1. 【基調講演】「富岳」時代の計算科学と産業応用
東京大学生産技術研究所革新的シミュレーション研究センター長 教授 加藤千幸先生
2. スーパーコンピュータ「富岳」の開発と展開
富士通株式会社未来社会&テクノロジー本部プリンシパルエンジニア 清水俊幸氏
3. 地震防災分野でのHPCの研究開発
海洋研究開発機構数理科学・先端技術研究開発センター一部門長 堀 宗朗先生
4. 大規模分子シミュレーションによる高分子材料設計
東レ株式会社 北畑雅弘氏
5. 人・社会とシステムサービスの不確かさ・複雑さを含めたモデリング・シミュレーション
～ポストコロナを見据えた産業構造変革（DX）のためのAIとCAEの融合～
ダイキン情報システム株式会社 平野 徹氏

以 上